



## 第46回 まちづくり構想部会を開催しました 令和5年11月9日

東淀川区西部地域の各地域のアクションプランの検討状況について、話し合いました。

### 豊新地域



- ・H30.3に区内で最初に計画策定した地域です。策定から5年が経過し、計画の更新に向けてワークショップを開き、社会の出来事や地域では何をしてきたのかを整理しました。
- ・コロナ禍ではあったが、豊新地域では、その間何もなかったのではなく、感染症対策を工夫することで、いち早く地域活動の再開に取り組みました。
- ・イオンスタイル東淀川・東淀川区・豊新地域の3社で「包括連携協定」を締結。開業にあわせ、災害を想定し、イオンの駐車場に避難する訓練を実施しました。
- ・NPO法人やフードバンク、地域住民の協力を得て、金曜日の朝に「子ども食堂」を開き、登校前の子ども達に朝ごはんを提供。創立50周年を迎える小学校で“桜の通り抜け”を実施。地域の緑である「豊新の森」をみんなで育てる地域活動などを行っています。

### 新庄地域

- ・豊新地域の1年後に計画を策定。豊新地域をお手本に、社協中心に保健福祉計画の見直しを進め、アクションプラン策定を進めていきたいと思ひます。
- ・「子ども食堂」のかわりに、土曜日に「駄菓子屋さん」を開き、児童の約半分にあたる140数人がやってきました。障がい者支援も取り組んでいます。
- ・子どもに力点を入れており、学校では国語の学習に特に力を入れていて、学力テストでは全国や市の平均を超えたそうで、他の科目への良い影響を期待しています。

### 啓発地域

- ・民間賃貸に住む一人暮らしの20代・30代が突出して多く、外国人も多数住んでいる一方で、神社・仏閣が多く残る、特徴的な地域です。
- ・他の地域に比べ町会加入が少なく(約10%)、地域のイベントにも若いファミリー層の参加が少ないため、多くの方に参加してもらうための方法を工夫していきたいと思ひます。
- ・子育てサロンは、他の地域からの参加者も増えているので、地域の外から見た意見なども取り入れ、アクションプラン策定に向け、ゆるやかに取り組んでいきたいと考えています。

### 淡路地域

- ・コロナ禍もあり、まちの活動の一体感が薄くなってしまい、アクションプランの策定に向けた議論を行う体制づくりに苦労しています。
- ・人と会うことが避けられた結果、地域の活動が細分化して活動しているように感じています。地域のなかでバラバラな“端切れ”のようになってしまっている活動を、つぎはぎでもいいから“まちという一枚の布”にしていければよいと思ひています。

### 情報提供 & 意見交換

- ・今、学校は「働き方改革」で、先生や職員は授業以外の活動に参加しづらくなってきています。イベントに子ども達(とその保護者)だけで参加できる方法を模索しています。
- ・まちや地域には、得意分野に長けた「スペシャリスト」や、まち全体を見て、まとめていく「ゼネラリスト」、様々な活動をまとめていく「プロデューサー」などの人材が必要だという経験を踏まえた意見が多く出ました。
- ・豊新地域では5年間を振り返り、まちの将来を考えるワークショップを実施してみて、普段地域でそれぞれ活動されている方たちみんなで意見交換をすることで、“地域が目指す目標について目線を合わせる”ことができ、バラバラな課題をくつつけることができたと感じているそうです。

